

## 新副病院長紹介

## 愛大の独自性を活かしたバイオバンクを目指す

橋渡し研究推進担当 副病院長 大澤春彦

私は、臨床医である一方、基礎研究に長く携わってきました。その経験を活かして、基礎研究と臨床研究の融合を促進します。2022年4月にバイオバンク部門を設置するために、杉山病院長、山下医学系研究科長、今村先端医療創生センター長とも協議を重ね、基礎と臨床の先生方からなるワーキンググループを立ち上げました。医学部全体を共同体としてサンプルやデータを有効利用するプラットフォームを作り、集団の均一性や環境因子の比較のしやすさといった地方都市の特長を活かしていきます。愛大の独自性を打ち出しながら、学内外とも連携し、研究・論文発表を加速・発展させるバイオバンクを目指します。



## PROFILE

おおさわはるひこ◎1984年千葉大学医学部卒業、医学博士。1991年米国バンダービルト大学分子生理学・生物物理学、1997年愛媛大学臨床検査医学（糖尿病内科）助教授、2008年6月より同教授。遺伝子検査を応用した糖尿病高精度医療の確立が目標。